

小規模企業景気動向調査

[平成27年6月期調査]

～5ヵ月連続で改善した小規模企業景況～

2015年7月28日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2015年6月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…5ヶ月連続で改善した小規模企業景況…◇

6月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は若干改善となった。項目別に見ると、売上額DIは不変、採算及び資金繰りDIは多少の改善となった。改善幅は小さいものの、業況DIは5ヶ月連続の改善となった。経営指導員からは、プレミアム付き商品券の発売に伴い、一時的に売上が増加傾向にあるが、今後の動向を注視する必要があるなどの報告があった。

<製造業> ◇…受注は比較的堅調だが、円安による原材料高が響き横ばいとなった製造業…◇

製造業の業況DIは、不変となった。項目別に見ると、売上額及び採算DIは若干悪化、資金繰りDIは若干改善となった。経営指導員から、好転材料として、①機械・金属関連で、取引先の業績好調を受けて受注がやや増加している、②繊維関連で、単価の低い仕事が多く採算の改善にはつながらないが、売上は増加しているなどの報告があった。また、悪化材料としては、①円安の影響で原材料費が上昇し、利益を圧迫している、②一部の自動車関連や精密機械関連で、親会社からの受注が落ちてきているなどの報告があった。

<建設業> ◇…公共工事や住宅関連の受注回復により改善した建設業…◇

建設業の業況DIは、わずかに若干改善となった。項目別に見ると、売上額DIは若干改善、資金繰り及び採算DIは小幅改善となった。経営指導員から、好転材料として、①公共工事関連で、施設の建て替えや修繕に伴い、十分な仕事量が確保できている、②住宅関連で、新築物件・リフォームともに受注が増えているなどの報告があった。また、悪化材料としては、資材や人件費上昇による負担が重く、採算が厳しいなどの報告があった。

<小売業> ◇…わずかながら売上回復の兆しも見られ改善が続いた小売業…◇

小売業の業況DIは、小幅改善となった。項目別に見ると、売上額、採算、資金繰りDIとも小幅改善となった。経営指導員から、好転材料として、①プレミアム付き商品券の発行に合わせて独自に販売促進を行った事業者においては、売上が伸びている、②一部の食料品関連で、新事業に取り組んだ結果、売上・利益が増加したなどの報告があった。また、悪化材料としては、消費増税以降、個人消費の冷え込みが続き低迷しているなどの報告があった。

<サービス業> ◇…一部の飲食関連やクリーニング業で需要が増加し改善が続いたサービス業…◇

サービス業の業況DIは、若干改善となった。項目別に見ると、売上額DIは若干悪化、採算DIは不変、資金繰りDIはわずかに改善となった。経営指導員から、好転材料として、①一部の飲食関連で、外食機会や観光客の増加により、若干上向いている、②クリーニング業で、衣替えの時期に雨天が続いたため需要が増えたなどの報告があった。また、悪化材料としては、一部地域の宿泊関連で、火山の噴火活動の影響により、予約のキャンセルなど風評被害が出ているなどの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比
売上額	▲ 13.8	▲ 13.5	0.3	▲ 3.3	▲ 4.8	▲ 1.5	▲ 9.2	▲ 7.5	1.7
採算	▲ 23.5	▲ 21.7	1.8	▲ 17.9	▲ 18.8	▲ 0.9	▲ 23.6	▲ 19.8	3.8
資金繰り	▲ 18.2	▲ 16.2	2.0	▲ 15.3	▲ 13.9	1.4	▲ 18.1	▲ 14.7	3.4
業況	▲ 21.6	▲ 20.2	1.4	▲ 16.5	▲ 16.3	0.2	▲ 15.6	▲ 14.1	1.5

業種	小売業			サービス業		
	5月	6月	前月比	5月	6月	前月比
売上額	▲ 23.6	▲ 21.3	2.3	▲ 18.8	▲ 20.5	▲ 1.7
採算	▲ 31.4	▲ 27.6	3.8	▲ 21.1	▲ 20.7	0.4
資金繰り	▲ 23.7	▲ 21.0	2.7	▲ 16.0	▲ 15.1	0.9
業況	▲ 34.1	▲ 31.5	2.6	▲ 20.2	▲ 18.8	1.4

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査【付帯調査】

『地域小規模企業における賃上げの動向について』

2015年7月28日
全国商工会連合会

<調査概要>

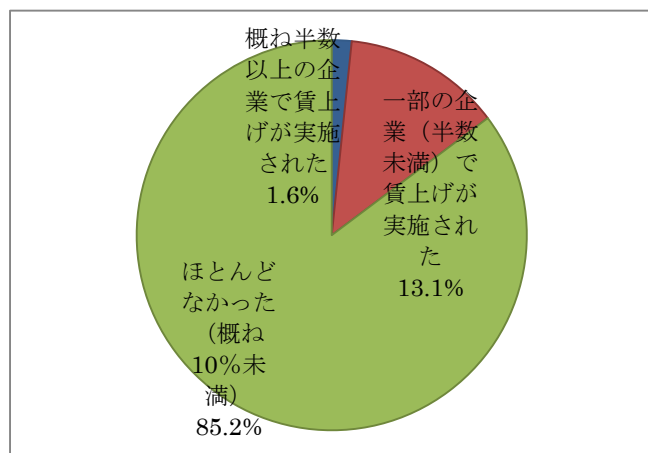
調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2015年6月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

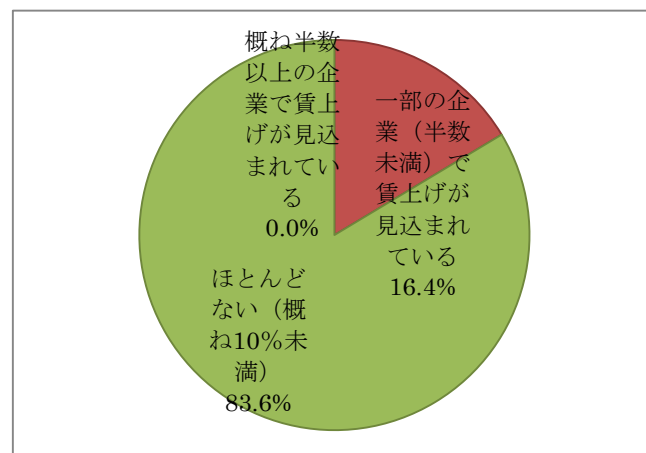
<調査結果>

1. 賃上げの動きについて



地区内の小規模企業において、ここ1年以内に賃上げの動きがあったかを聞いたところ、「ほとんどなかった（概ね10%未満）」が最も多く85.2%であった。

2. 賃上げの予定について



地区内の小規模企業において、今後（1年程度）、賃上げの予定があるかを聞いたところ、「ほとんどない（概ね10%未満）」が最も多く83.6%であった。

3. 賃上げに関する小規模企業の状況について(主なコメント)

- ▶ 小売・サービス業については賃上げの動きはほとんどない。建設・製造業については、ベア等はほとんど実施していないが、業績連動の賞与の賃上げは一部で聞かれる。（東京都羽村市商工会）
- ▶ 小規模企業では、企業の利益がようやく確保できるかできないかの状況の中、賃上げについてはまだ少し先の状況となる見込みである。若干ではあるが、補助金等の申請に伴い、賃上げを社内で検討する企業はある。（鳥取県米子日吉津商工会）
- ▶ 賃上げを行うほど地域小規模企業の業績は良くない。（福井県わかさ東商工会）
- ▶ 建設業において、人不足（職人、作業員）傾向が見られ、結果的に賃上げの要因になっている。また、観光バス会社において、国の基準の改正に伴う受注単価の上昇傾向が見られ、賃上げの要因となっている。（福岡県筑前町商工会）
- ▶ 輸出関連の製造業や大手大企業はアベノミクス効果を相当受けているが、地方の小規模企業へはその恩恵や波及効果が殆どない現状であり、賃上げしたい気持ちはあるが、利益が伴っていない現状では現実的には賃上げはなかなか出来ないといった声が殆どである。（山形県南陽市商工会）
- ▶ 設備の老朽化への投資が必要で、賃金を上げるまでに至っていない。賃上げ出来ず、社会保険料等の引き上げで手取り額は減少している現状である。（愛媛県鬼北町商工会）
- ▶ 地域の小規模企業では大企業に見られる様な景気回復の実感が乏しく、今後の先行きを注視している状況であることから、賃上げには踏み切れていないと思われる。（富山県富山市八尾山田商工会）